

輸送動向について(1月分)

平成19年2月

1. 輸送概況

今月は、上旬に急速に発達した低気圧の影響で西日本から北日本の広い範囲にかけて暴風・大雨による輸送障害が発生した他、下旬には全国的な暖冬にもかかわらず、北海道南部及び東北地方北部で局地的な大雪による輸送障害が発生した。これらの影響により、月全体では高速貨64本が運休した。

荷動きについては、コンテナ貨物は中旬まで比較的堅調であったものの、石油の出荷が大きく落ち込んだこともあり、全般的には低調に推移し、輸送量全体では前年比93.1%となった。

コンテナ貨物では、化学薬品、食料工業品、エコ関連物資が前年を下回ったものの、政府米の出荷が全国的に強勢であった農産品及び北海道地区の玉葱の出荷が好調であった生野菜青果物をはじめとして、紙・パルプ、化学工業品、自動車部品などが前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比107.3%となった。ただし、昨年は羽越線旅客列車脱線事故により、1月18日まで不通となっていた。

車扱貨物では、石灰石などが前年を上回ったものの、暖冬の影響を大きく受け、大幅な減送となった石油の他、セメント、紙・パルプなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比78.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,723	1,606	107.3%	19,189	18,512	103.7%
車 扱	1,180	1,511	78.1%	10,994	12,110	90.8%
計	2,903	3,117	93.1%	30,183	30,622	98.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	116	80	36	145.0%
	生野菜青果物	82	72	10	113.9%
	化学工業品	164	152	12	107.9%
	化学薬品	133	136	-3	97.8%
	食料工業品	195	199	-4	98.0%
	紙・パルプ	314	293	21	107.2%
	他工業品	130	118	12	110.2%
	積合せ貨物	180	172	8	104.7%
	自動車部品	60	50	10	120.0%
	エコ関連物資	33	38	-5	86.8%
	その他	316	296	20	106.8%
	コンテナ計	1,723	1,606	117	107.3%
車 扱	石 油	780	1,075	-295	72.6%
	セメント	52	84	-32	61.8%
	石灰石	69	62	7	111.7%
	車 両	135	159	-24	85.2%
	紙・パルプ	28	30	-2	94.0%
	化学薬品	50	49	1	101.9%
	その他	65	53	12	123.1%
車 扱 計	1,180	1,511	-331	78.1%	
合 計	2,903	3,117	-214	93.1%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)